

講義Ⅰ

レポートの文体

論述・作文A

第8回

この講義で学ぶこと

- レポートの文体
 - レポートとしてふさわしい文章スタイル（文体）を知ろう。

レポートの文体の原則

- 原則1. 常体に統一して書く。
- 原則2. 話し言葉と敬語は使わない。

原則Ⅰ. 常体に統一して書く

- 書き言葉の文体には敬体（です・ます体）と常体（だ・である体）の2種類がある。
- レポートは常体が原則。

例：✕（敬体） 英語教育が実施されます。



○（常体） 英語教育が実施される。

常体

- 文末で丁寧表現（です・ます）を用いない文体。
- 「だ・である体」とも呼ばれる。
 - ただし、「だ」や「である」で必ず終わるという意味ではない。

敬体	常体
大学です	大学だ／大学である
行きます	行く（×行くのだ）
良いです	良い（×良いのだ）
～しません	～しない（×しないのだ）

- 詳しくは「レポートの文体Ⅰ」補足資料を参照。

練習問題 問Ⅰ

- 下線部の敬体をレポートにふさわしい常体に修正しなさい。
- ヒント：
 - 補足資料「レポートの文体」を参照しよう。

模範解答

[1]

札幌学院大学の構内では喫煙ができません。

常体：できない。

[2]

食品廃棄削減への取り組みが求められます。

常体：求められる。

[3]

防護ネットの設置で農作物の被害が減りました。

常体：減った。

原則2. 話し言葉は使わない

- 縮約表現はNG

×: ~しちゃう

×: ~してる

○: ~してしまう

○: ~している

- 砕けた表現はNG

×: やっぱり

×: こっちが

×: そんな

×: ~なんだ

○: やはり

○: こちらが

○: そのような

○: ~なのだ

敬語は使わない(1)

- 常に中立的な表現を選ぶ。
 - － ×: …と田中先生はおっしゃっている。
 - － ◎: …と田中は述べている。
- 「～様」「～の方(々)」などの敬称は使わない。
 - － ×: 住民の方々の意見をきく。
 - － ○: 住民の意見をきく。

敬語は使わない(2)

- 美化語の「お」を使わない。
 - × お客様 (○ 顧客、利用者、来店者など)
 - × お酒 (○ 酒類、日本酒など)
 - × お金
- 機材の購入には多額の~~お金~~が必要だ。
資金／費用
- 施設の利用には~~お金~~がかかる。
料金／使用料

練習問題 問2

- レポートとして不適切な個所に下線を引き、修正せよ。
- ヒント：
 - 補足資料「レポートの文体」を参照しよう。

模範解答

[1]

そんな事態も想定した防災計画となってる。

そのような



なっている



[2]

札幌市在住のお年寄りの方々にアンケート調査を実施した。

高齢者 など



模範解答

[3]

だから、工場誘致をしないべきだという意見も多い。

そのため

すべきで(は)ない

[4]

満足度の向上には、お客様の要望を的確に把握する
必要があります。

常体：ある

顧客／利用者 など